

埼玉労山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙 発行:武笠真次
〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階 編集:青木 正
<http://www.justmystage.com/home/tozans/index.html>

第42期定期総会

埼玉労山ホームページ立ち上がる 安全登山と会員増加を目指そう!

三月二十九日(日)与野本町コミセンに於いて、埼玉県勤労者山岳連盟第四十二期定期総会が行われました。徳重県連副理事長の司会のもとに、議事が進められ、はじめに武笠理事長より、埼玉労山ホームページが四月本格化公開を前に試験的ではあるがアップされ機関紙がリンクアップされたことと、今後徐々に各会のホームページや紹介等をリンクしていくことが報告されました。

続いて元埼玉県連理事長で現在全国理事である大沢辰雄様より、二月に行われた全国評議会の報告について、新特別基金、労山ネット、五十周年記念行事等について述べられ、理解と協力を求められました。また、地球温暖化の折、低酸素登山の提案や担当とされている組織についてからも前年度末に於いては全国で六百十一名の会員減少が報告されている中、安全登山の為や、連盟活性の為に是非会員増加のための活動をされ、会活動・会山行・県連活動が活発になることを祈念するとの祝辞を頂きました。当日は晴天の小春日和の中、三十六名の代議員出席(六

名委任状)となり、資格審査は成立。議事は議長、午前 中部ブロックより高橋氏(浦和くまざさ山岳会)、午後 北部ブロックより滝沢氏(熊谷トレッキング同人)書記、南部ブロックより八木原氏(三郷山の会)、西部ブロックより大館氏(所沢ハイキングクラブ)の方で進められ、〇八年度活動報告、〇九年度活動方針、会計報告、会計監査、予算案、規約改正案、〇九年度役員体制案。すべてが承認され、十六時閉会となりました。総会後は、理事他各会代議員ら三十名で懇親会が行われ、交流も深められました。

埼玉労山ホームページ見てくださいね!
埼玉労山ホームページ
<http://www.justmystage.com/home/tozans/index.html>
埼玉労山登山学校ホームページ
<http://www.justmystage.com/home/tozan/>
日本語検索で「ろうさん」と入れていただければ共に出てきますのでお気に入りの欄に入れてくださいね!

第四十二期埼玉県勤労者山岳連盟役員体制

理事長	武笠 真次 (わらび山の会)	理事	廣岡 美恵子 (山遊会ビスターリ)
副理事長	徳重 重文 (大宮勤労者山岳会)		木村 哲也 (熊谷トレッキング同人)
	矢崎 辰雄 (ハイキングクラブ上里)		高橋 利男 (富士見市峠山の会)
	佐藤 久子 (三郷山の会)		尾手 利雪 (三郷山の会)
事務局長	木阪 康弘 (ハイジアルペンクラブ)		若木 由和 (上福岡山なみハイキングクラブ)
			青木 正 (埜歩歩富士見山の会)
			澤藤 俊昭 (あすなる山岳会)
			長谷川 貞子 (所沢ハイキングクラブ)
			加納 隆夫 (新座山の会) - 新任
			嶋田 好枝 (新座山の会) - 新任
			天野 二郎 (日進山岳会) - 新任
		監事	杉江 勲 (新座山の会) - 新任
			後藤 尚子 (大宮勤労者山岳会) - 新任

第14期登山学校

14期の登山学校の日程が決まりました。是非各会でご紹介いただき、多くの方の参加をお待ちしております。
* 受講料 年間2万円、交通費実費
日程説明会・開校式 5月23日(土)
計画から下山まで 6月6日(土)7日(日) 登山と運動生理学 7月4日(土)5日(日)
山での救急法 8月1日(土)2日(日) 地図の読み方 9月5日(土)6日(日)
岩登り(初級) 10月3日(土)4日(日) 天気の見方 11月7日(土)8日(日)
総合学習登山 12月5日(土)6日(日) 雪山歩き 1月16日(土)17日(日)
閉校式 2月6日(土)

理事会報告

三月二十五日(水)第十三回理事会を十五名出席で浦和県連事務所にて行いました。

委員会等活動経過報告・計画予定

財政

決算報告書作成 カレンダー代・安全対策基金交付金 増 遭難対策基金手数料入金有

【ホームページ】

3月末公開 HPのある加盟団体 大宮・ハイジ・NPO 埼玉・岩つばめ・所沢・新座・飯能・熊トレ・三郷・わらび

【女性】

3/7 北本自然観察公園救急法講習会 十五名+女性委員五名

【ハイキング】

実験登山報告書作成中 【自然保護】 4/26 植樹祭(岩山より地元NPOへ1万円寄付)

【救助隊】

4/6 総会準備中

【登山学校】

4/13 第二回運営委員会

5/23 開校式

【岩ネット】

3/1 幕岩6名参加

【山スキーネット】

3/15 那須(すだれ山)9名参加

【登山ゼミナール研究】

今期中止

【ロック報告】

西部 3/1 冬山交流登山(赤城山)二十六名参加 南部 3/7・8 深雪 7名(谷川土合)

【加盟団体活動情報】

総会: 4/5 峠・所沢、4/12 三郷、4/19 ハイジ・埜歩

【議題】

1 県連総会準備 三月二十九日(日) 与野本町コミセン

3/28 総会資料印刷 (浦和コミセン)

総会当日任務依頼

議案書版下完成状況

会計監査: 3/16

【実施】

規約一部改正

総会委任状 クラブワール

ドピークス、橡山岳会

2 新年度役員選考委員会

継続理事・退任理事

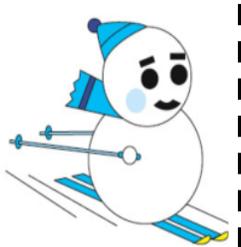
新規理事 確認

3 その他

新役員体制案を事務局作成する。

川トレ脱退経緯について説明

規約を一部変更



山スキーネット

今回の山スキーネットは、久しぶりに熊トレ以外から所沢HCの長谷川さんが参加。総勢9名で那須連峰の中ノ大倉尾根を滑ってきました。Mtジーンズスキー場の駐車場に着くと、さすが那須連峰だけあってゲレンデ内でも結構な強風が吹いていた。稜線の雪雲もなかなか取れないので、10時までの予定でゲレンデにてスキー練習を行う。ゴンドラTOPに全員集合し、十時半過ぎに出発。今日の風では他に入山者はいないのでかと思っていたが、つば足登山者の他、スキーを履いた人も何パータイかいた。中ノ大倉尾根のほぼ夏道沿いに登っていくが、樹林帯を抜けたあたりからは風をもろに受けるようになり、雪面もアイスバーンとなったので、クト&目出帽を装着。凍傷を警戒して目出帽とゴーグルの隙間には日焼け止めをばっちり塗る。時折ガスが晴れると、スダレ山や朝日岳

の稜線が望まれた。斜度が急になる1660mで今日は、これ以上は危険が大きいという事で登行終了。来た道を戻るのは滑りの楽しみが全く無いので、中ノ大倉尾根の北面を滑ることになった。始めはカリカリのアイスバーンで高度を下げるので精一杯な感じだったが、樹林帯に入るとまずまずの雪質となり、ブナ林滑降を楽しんで谷底の1460mで昼食休憩をとる。休憩後は尾根に向かって100m程登り返す。この斜面の雪が良かったので、時間もまだ早いのもう一本滑る。あつという間に谷底に着いてしまいがこれも楽しかった。ここからはさきほどよりもトラバース気味に尾根に登り返すが、こちらは所々アイスバーンで少々登りづらかった。尾根に出た所で集合写真を撮ってゲレンデTOPへ。後はゲレンデを流して本日の行動は終了。強風、アイスバーンと条件が良くなかったため、目標のスダレ山には到達できませんでしたが、それなりに楽しめた一日でした

木村理事記



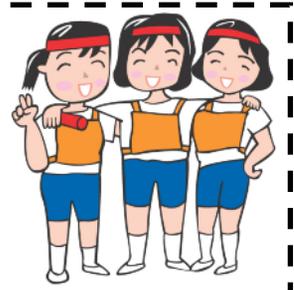
第二回岩ネット報告

(担当理事 尾手 記)

平成二十一年三月一日(日) 天候 雨のち曇り 湯河原・幕岩のゲレンデで行いました。参加者は三郷山の会 五名 浦和山の会 一名 計六名でした。湯河原の駅に到着した時には、朝より雨模様で、箱根では雪まじりの天候でしたが、とりあえず現場へという事で茅ヶ崎ロックエリア桃源郷(グレードは五・八程度)へ、しばらくすると雨もやんで、誰もいなかったゲレンデにクライマーが続々きてにぎやかになりました。今回はまるっきりの初心者が参加ということで蠟さんルート(五・八程度)を選び、ロープをたらしトップロープで何とか皆さんクリア、隣のルートに移ったがここは初心者には無理だったようで敗退。帰りは湯河原の温泉で汗を流し美酒を楽しみました。小生は依然としてレベルア

ップできず悶々としているしだいです。ここは梅林公園内にあり梅祭り(今回は梅も満開)もあり、日当たりも良く伊豆という場所柄もあり、暖かなエリアとして関東クライマーの冬の定番となっています。湯河原梅林公園条例に基づき幕山公園の一部を立ち入り禁止区域に指定されたことにより幕岩の一部(指定された区域はほとんどむしロックエリアから正面壁エリア)でのクライミングが出来ないのでクライマー、初級者から中級者及び講習者が茅ヶ崎ロックエリアに集まり天気の良い日はクライマーでいつもは混雑するところでしたが今回はゆったりとできました。来年も梅の咲く時期に満開の梅を見ながらの幕岩でしか味あえないクライミングを楽しみたいと思います。今期は二回だけと少ない岩ネットでしたが今期の岩ネットの予定は終了です。来期もどうぞよろしくお願いたします。





女性委員会

女性委員会主催「救急法講習会」

二〇〇九年三月七日(土)

北本の埼玉県自然観察センターにて、MFAインストラクターで救助隊副隊長の柴山利幸講師(ハイジアルペンクラブ)のもと、四団体十五名(北本山の会六名、ハイジアルペンクラブ三名、山遊会ビスタリ五名、アルパインNPOさいたま一名)、女性委員五名の参加で行われました。

室内で心肺蘇生法、AEDのデモ、シヨック対処の説明、屋外では緊急避難(一人搬出・二人搬出・ツェルトドラッグ・ヒューマンチエーン・梱包デモ)や、シミュレーションで、シエルターの確保、シヨック対処、そしてヘリでの救助の際の有効な伝達実験などをしました。実験では雨具、蛍光色の上着、サバイバルシート、鏡、青い袋や、素手で試みたところ、サバイバルシートは遠くても良くわか

り、蛍光色も目立ちました。今回初めての地域で行い、活動が広がったように感じました。繰り返し講習会を開催し、安全登山に繋がることを願っています。

長谷川理事記

「野外の救急法講習会に参加して」

酒井 理佳

(ハイジアルペンクラブ) 一度はやっておかなくてはと思うものの、今までなかなかできなかった救急法講習に、今回ドタ参加という形で出席させていただきました。

「野外の」ということで、場所は北本自然観察センターです。荒川のそばの湿地帯や雑木の残された環境で、野鳥の観察にうつつけの場所ですが、付近には桜堤があったり田園地帯が広がったりで、サイクリングやウォーキングを楽しむ人もいます。鴻巣在住の私にとっても、お気に入りの場所です。

講師の柴山さん、女性委員会の長谷川さんの紹介のあと、まずは室内で、心肺蘇生の基本練習をしました。けが人を発見するところから講師がお手本を見せてく

れます。声かけ(意識や呼吸の有無の確認)、救急車やAEDの手配要請、心肺蘇生 という順だが、けが人に近づく際は足元から(頭から近づくと、けが人は声のする方を見ようと

するため、頸椎にダメージがあるときに危険)など、細かい注意点を説明がありました。救急車の手配をお願いする際も、特定の人に頼む(「誰か・・・」だとなかなか動いてくれないらしい)とか、なるほどと思いました。

「実践は心肺蘇生のみでしたが、人によりテンポの違いがあったり、無理な姿勢をしていたりするのを、講師やお手伝いの皆さんが丁寧にアドバイスしていただき、最後には全員なんとか形になっていました。

次に野外の草地に移動して、けが人搬出の訓練をしました。一人搬出、二人搬出、ツェルト使用、ヒューマンチエーンとやってみましたが、一人ではわずかな距離しか移動できませんでした。男性相手では、私の要領が悪いのもあり、半身を起こすのさえ一苦労でした。実際の山中では、斜面であつたり岩場であつたり

する場面もあるわけで、二次遭難を防ぐため、無理だと思つたら割り切りも必要と教わりました。午後はシヨック対処の説明と、野外でのシエルターの確保を行いました。シヨック対処は、主に低体温症に対する措置を教えていただきました。保温には体表面を温めるものがあり、体深部を温めるものがあり、後者が良いとのこと。冷たいからといって手足をこすつたり人間の体で温めたりするのは前者にあたり、良くないそうです。これは意外でした。金属ビンにお湯を入れタオルでくるんだものを、大きな血管のある部位(そけい部、脇の下、首など)に少しずつあてる方法を教わりました。

最後にグループに分かれて搬出の実習を行い、9時から5時まで、たつぷり充実した訓練となりました。実習を通じて私が感じたのは、実際の山行中に事故にあつた時、的確な状況判断が重要ということです。けが人の状態の他、救出する側にもリスクがある場合、自分たちの安全確保も必要だし、状況も天候などによつて変化します。とても難

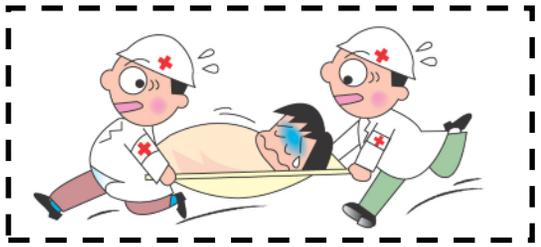
しいことに思われますが、それが感じられただけでも、今回の講習は有意義でした。講師の柴山さん、女性委員会の方々、ありがとうございました。

「初めて救急法講習会に参加して」

北本山の会 千葉

すべての項目に全員参加ができたので非常に参考になりました。北本自然公園には屋外のデモンストラーションに使えるところがたくさんあり講習環境も良かったと思います。

実際の場面に遭遇したら何らかの役に立つように参加したいと思えます。



西部ブロック雪山体験・赤城・黒松山

三月一日に埼玉労山西部ブロックで赤城・黒松山に行つてきました。最短ルートでピストンでしたが雪や、氷も程よくありアイゼン歩行の初心者には絶好のハイキングになったのでは。

数日前の雪が残り気温も多少あつて赤城のこの季節に取つては暖かいくらいかと。でも、踏み固められた登山道はアイスバーン状態。視界も良くないが大沼は良く見える。高度が上がるにつれ小沼も見えてきた。昼近くになると、気温が高いせいか目前の地蔵岳も霞んでしまった。

黒松岳頂上からは何も見えなくなつてしまつたが風も穏やかで絶好のハイキング日和でした。大沼湖面には朝早くからワカサギ釣りのファンがたくさん見えました。天気こそイマイチでしたが久々の雪山歩きは最高でした。

時間があつたので、最後の急斜面ではムンターヒッチで救護者の下山の仕方もしっかり練習しました。 四面へ続く

三面より続く
下山後、温泉にゆっくり浸
かって気持ち良くなり。山
の歌をみんなで歌いながら
バスで、帰ってきました。

西部ブロック初級雪山登山

佐藤 英輝

上福岡山なみハイキングク
ラブ

3月1日(日) 赤城山最

高峰 黒檜山(1,828m)

「バス使用」

参加者二十六名

山遊会ビスターリ 五名

塾歩富士見山の会 五名

所沢ハイキングクラブ四名

新座山の会 二名

富士見市峠山の会 一名

上福岡ハイキングC 九名

一班・二班、各十三名ずつ

登山道は完全

に雪道、急登が続き三十分

ほどで猫岩にでた。

大沼方面の展望がすばら

しい、冬の名物氷の上での

「わかさぎ」釣りのテント

の群れが壮観である、長七

朗山・地藏岳がはつきりと

見え絶景である。

一步一步、サクサクとア

イゼンの爪で雪を踏み込む

感触が心地よい、登るにつ

れ雪も少々多くなってきた

樹林帯を登りつめる、山頂

近くになると樹木の細い枝

先まできつちりと張り付い

ている樹氷がすばらしく綺

麗である。

一時間四十分で山頂に着

くことが出来た、「ここで



大切な”初級雪山体験であ
る、出発地で資料を頂き、
ピッケルの持ち方・使い方、
アイゼン歩行の基本フラッ
トフツティングでの登り・
下り、急傾斜での足の運び、
体の姿勢をわかり易く説明
を受ける。
山頂で下りは特に慎重に
降りること、アイゼンはフ
ラットにおき爪全体を刺す、
その
他体重移動等の指導を受ける、
下山を始める、急斜面では
ゆっくり静かに下り転ばな
いよ
う対応する、勢いがあると
大怪我のもとになる
と。・・・なるほど
猫岩を降りたところで、
ロープワーク・ムンターヒ
ツチでの訓練、簡易ハーネ
ス、安
全肩付きカラビナを取り付
け引き下ろし体験、全員ク
リアーして、十四時三十分
登山口に下山できました。
帰路は・あいのやまの
湯・でリフレッシュ、車中
は「山の歌」教室に早変わ
り、みん
な楽しそう笑いが絶えない。
二十時ふじみ野に到着。
アイゼン歩行、足が疲れま
したが、勉強になりました。

みんなの歌

1992年(H.4)、吉田美和さんがボーカルのグループ"Dreams Come True"のヒット曲です。
NHK TVの朝の連続ドラマ、「ひらり」のテーマ曲に使われました。

晴れたらいいね

作詞 作曲者 吉田 美和

1、山へ行(イ)こう 次の日曜 昔みたいに
雨が降れば 川底に 沈む橋越えて
胸まで草分けて ぐんぐん進む背中を
追いかけていた 見失わないように
抱えられて渡った小川
今はひらり跳び越えられる

一緒に行こうよ "こくわ"の実 また採ってね
かなり頼れるナビになるよ

2、幼稚園 最後の日は 爪に赤いインクを
こっそり塗った 私叱って泣かせたあなたにも
肩が並んで 人並みには 恋だってしたよ

一緒に行こうよ 彼の話も聞いてね
お茶も上手にいれるからね

一緒に行こうよ いつも眠った帰り道
今度は私が 運転するから

一緒にね いろんな話しよう Wow
晴れたらいいね 晴れたらいいね 晴れたらいいね

編集後記

埼玉の桜もそろそろ
満開の頃となりますね。
奥武蔵や奥多摩、秩父も
四花の良い季節が間近。
皆さんの気持ちもウキ
ウキしてきたかな?
花見にはお酒がつきも
のの方も多いかと。
是非や真野中では程々
にしましょうネ!
定期総会も終わって新
年度がスタートします。
次号はまた、どんな内容
になるのかな?
是非みんなの歌も例会
で歌って楽しんでいた
だけたらと...。08年度ご
愛読に感謝。

足尾植樹祭に参加しよう!

「旧足尾銅山の植樹デー」に今年も自然保護委員会として下記のとおり植樹活動に取り組むことになりました。埼玉県連の各団体からの多数の参加をお願い申し上げます。

- 1. 日時：2009年4月26日(日)
- 2. 植樹場所：戸四郎沢・・・足尾ダムゲートの近く
- 3. 集合時間・場所：午前9時30分 銅(あかがね)親水公園 *雨天決行
- 4. 埼玉県連としての統一行動：共同植樹・・・午前10時～午後1時
*西部ブロックは植樹後、銀山平から備前楯山を登山します。
- 5. 個人で持参するもの：参加費は無料ですが 昼食(ブタ汁は用意されています) 軍手
雨具 用具は現地で用意されていますが用意できる人は持参。
- 6. 参加者の取り纏め：各ブロック単位でお願いします。 杉江までメール又は
最終取り纏め・・・4月10日(金) FAX(048-468-9040)
で報告下さい。
- 7. 駐車場：昨年と同じ足尾ダムゲートの先です。
- 8. わたらせ渓谷鉄道ご利用の場合は、終点の「間藤駅」からの送迎があります。
- 9. 西部ブロックは貸切バスを用意します。集合場所は東武東上線の「ふじみの駅」午前6時
30分です。他のブロックで貸切バスが必要であれば県連で手配します。
- 10. 昨年植樹した苗木は見学できるようにします。
***足尾の山に100万本の木を植えよう!!!